

大田区

高齢者の就労後押し

福祉の職場体験通じ

高齢者の就労支援に力を入れて大田区は26日、23区初となる職場体験や事前講習を通じた就労支援事業を開始した。

都が実施する「元気高齢者地域活躍推進事業」を活用し、就労を希望する高齢者と、人材不足に悩む介護施設や保育所のマッチングを後押しする。区は事業の第一弾として26日、社会福祉法人池上長寿園が経営する「特別養護老人ホーム馬込」で、就労・ボランティア参加を希望する高齢者向けの体験セミナーを行った。

実施主体は大田区社会福祉協議会が運営する無料職業紹介所「大田区いきいきしごとステーション」で、おおむね55歳以上の区民を対象に、特養での仕事内容や勤務形態、介護職の初任者研修などを紹介した。併せて参加者が具体的な就労環境をイメージできるよう、車いすの試乗や介護食の試食も行った。

10月3日には、大田区産業プラザで合同就職面接会を開き、実際の就労につなげる。11月から12月にかけては、保育補助員に関する講習や現場実習も予定している。

いきいきしごとステーションの佐々木文雄所長は「身体介護ではなく、無資格でも働ける送迎や清掃、調理などの求人が多い」と話し、就労への期待を示した。

都政新報 2016年9月27日(火曜日)